

# One Purpose

同志社大学通信  
FOR BETTER COMMUNICATION

137

2003  
December  
DOSHISHA UNIVERSITY

特集● 来春、「政策」「情報」「環境」を柱に  
1学部、2学科が誕生!

同志社人訪問● シマノレーシング所属 ロードレーサー  
今西尚志さんに聞く

## COVER STORY

表紙の情景

[ホームカミングデー2003]



11月2日、日曜日。紅葉に色づく京田辺校地で第4回ホームカミングデーが開催された。訪れた卒業生のなかには、京田辺校地は初めてだという人も少なくないだろう。門をくぐる来場者の顔には、初めて訪れるキャンパスへの面はゆさと、広い敷地や最新の施設に対する誇らしげな表情があった。

特設ステージからは、在学生と卒業生によるカレッジソングや往年のヒットソングなどの合唱や演奏が終始なされ、会場を懐かしい雰囲気包んでいた。

そのほか、人力俵友之会による人力車でのキャンパス散策、玉露茶の接待、同志社ローム記念館などの施設見学といった今の京田辺校地を堪能できるものや、写真展や映画上映など同志社の歩みを感じさせるものなど様々な催しが開かれた。また卒業生交流セッションでは、往時の友人や恩師との再会を喜ぶ姿がたくさん見られた。

来場者は懐かしい顔ぶれと学生時代を語ったり、新しく変わっていく同志社を感じるなど、それぞれが「精神に帰る一日」を楽しみ過ごした。

## 特集

## 来春、 「政策」「情報」「環境」を柱に 1学部、2学科が誕生！



自分自身を知ることが就職活動の第一歩！

INTERVIEW ～同志社人訪問～



シマノレーシング所属 ロードレーサー  
いまにしひさふみ  
今西尚志さんに聞く

## LECTURE

大使講座 一今、世界を語る一

新島 襄の旅した風景 9

川口●大阪市西区

## OP COMMENTARY

青木 真美 商学部教授 遅刻癖の感性

ゼミ・ゼミ おじゃまします 経済学経済学科 西岡 幹雄ゼミ

産業の集積と特区を研究する

## CAMPUS NEWS

一神教学際研究センター設立記念講演会「日本の精神性と一神教世界」開催/プロサッカー選手めざしてヴィッセル神戸に通う/同志社リーダークラウンズが函館でコンサートを開催/第14回ドイツ語スピーチコンテストで大阪・ハンブルク友好都市協会会長賞を受賞/「全日本学生フォーミュラ大会」で省エネ賞を受賞/ローム記念館にベーカーリーカフェJOHERMIオープン/モンゴル柔道選手を招いて交流練習/2003年度資格試験合格ランキング/卒業生からのお便り/トピックス/本学教員の新刊

## BOOK・CD

林田 明 理工学研究所教授 「火山をめぐる小説」

四戸 潤弥 神学部教授 「クラウン、癒しの音楽？」

## MY JOB, MY LIFE ～シリーズ私と「仕事」～

・小林 明美さん(2000年 工学研究科博士課程(前期課程)工業化学専攻修了)

・大澤 宣さん(1989年 神学研究科博士課程(前期課程)組織神学専攻修了)



# 来春、 「政策」「情報」「環境」を柱に 1学部、2学科が誕生!

同志社大学では2004年4月から、政策学部をスタートさせ、工学部でも情報システムデザイン学科と環境システム学科を設置する。新しい大学教育の試みについて、設置準備委員のメンバーである先生方に集まっていただきお話を伺った。



—はじめにそれぞれの学部・学科について簡単に紹介していただきます。まず政策学部についてお願いします。

真山 ●同志社大学で新学部が誕生するのは実に55年ぶりであり、ノウハウがないなか、手探りの状態で準備を進めてきました。ただ新学部設立にあたっては、社会科学系学部をつくるという大枠が与えられていました。また、大学院ではずっと改革を続けており、今回の政策学部に近い内容をもつ総合政策科学研究科がすでに1995年につくられています。ですから唐突に政策学部ができたわけではなく、以前から基本的なコンセプトは温めてきたというのが正しいと思います。

政策学部の特徴は、「政策」のとらえ方にあります。政策というと、国や自治体の専売というイメージが強いかもしれませんが、しかし、企業に人事政策という言葉があるように、社会の中で広く使われています。私たちは、あ



る問題を発見した時に、その解決のために採用されるすべての知識・情報・活動の体系を「政策」と位置づけています。政策を英語で言うときはpolicyですが、政策学部ではもう少し広くstrategy・program・projectなども含んでいます。これらの幅広い領域を扱いグローバル化や複雑化が急速に進む現代社会で強く求められている「問題発見・解決能力」を養成するのが政策学部です。

― 次に、情報システムデザイン学科について、紹介ください。

川崎●工学部は長い間、機械、電気、化学という3本柱で歩んできましたが、1994年にはじめての情報系学科である知識工学科ができました。同学科では情報技術の基礎を深く学んできましたが、より広い視点で社会的ニーズに応える情報システムに関する部分が欠けていました。今や情報システムは、製造業や金融、医療などあらゆる分野で不可欠な存在になっています。一方、人が使いやすいシ

ステムを設計するには、コンピュータのシステムとともに、人間の活動についてもよく分かっているといえるものはつくれない。大事なものは、情報システムがどういう場所です。それを考える設計していくことです。そのような広い視点をもったシステムエンジニアを養成していくのが情報システムデザイン学科です。

― 続いて、環境システム学科のご紹介をお願いします。

林田●現代社会には、複数の専門分野の知を持ち寄らなければ解決できない問題がいろいろ出現しています。その点を踏まえ、環境システム学科では、理工学の基礎を広く修得したうえで、地球環境分野と生命環境分野を研究します。具体的には1、2年次生で理学、工学の基礎を勉強した後、地球環境分野なら地球システム科学や環境保全・防災技術関係、資源エネルギー関係へ進み、生命環境分野では生態学、あるいは医療や福祉を含め



た人間環境分野に進んでいきます。いずれにしても自分とは異なった専門分野を持つ人とコミュニケーションができる広い視野をもった専門家の育成をめざします。

## 特色のある教育内容

― 政策学部では、政策を軸に問題発見・解決能力を養っていくと、おっしゃいましたが、具体的にどのような教育を行うのでしょうか。

真山●政策学という学問体系は世界でも確立されているわけではありません。政策学部は「政策学」を学ぶ学部ではなく、「政策」を学ぶ学部です。つまり、これまでの既存学部のように、特定の学問体系を柱にするのではなく、政策を柱に教育体系を組み立てて、問題解決に必要なも



新町キャンパスに2005年竣工予定の新研究室棟・新教室棟(仮称)。政策学部の拠点となります。





のを学んでいくということです。私たちは、学問は学ぶためにあるのではなく、どちらかといえば、利用するためにあるというぐらいに割り切って考えています。これまで経済学部なら経済学、法学部なら法学というふうに、それぞれの学問領域で学ばなければならぬことが決められていました。そこでは学生が学びたいことや社会で必要な能力を養成するというよりは、学部として教えたことが優先されてきたくらいがあります。しかし、政策学部では、これまでの学問の成果はあくまで利用する対象として捉え、社会で本当に必要となる能力、つまり問題発見・解決能力を伸ばしていきます。具体的には、政治学・行政学、経済学、法学、そして組織論を中心としたマネジメント科目を基礎理論として取り上げていきます。そういう点では、工学部の2つの新学科も専門性とともに、いろいろな理論を集めてこれらと思うのですが。

川崎 ●そうですね。情報システムデザイン学



科では、人間行動体系を正しく理解しなければ、人間の活動を支えていく新しい情報システムはつくれない、という考えから企業活動や生産活動などの人文科学的な科目も設置しています。これは工学部の中でもかなり異色のカリキュラムといえます。また、文科系の受験生にも門戸を開こうと、従来の入試方式のほかに、物理のかわりに国語を選択できる入試方式も採用しています。もちろん入学後は数学、物理関連の科目を履修する必要があります。

林田 ●環境システム学科でも物理学や化学は必須です。その上で、地球科学、生物学、さらに環境経済学などの科目を設置しています。

真山 ●工学部と文科系学部では学ぶ分野はもちろん違いますが、学生のモチベーションもずいぶん違うように思います。工学部では、実験などで学生が毎日のようにキャンパスに足を運ぶ。モチベーションもかなり高いように見えます。



それに比べて文科系の学生のモチベーションを維持するのは難しい。大学に入った時点ではモチベーションの高い学生も、授業を受けている間にどんどんモチベーションが低下していつてしまう(笑)。そういうことがこれまでも多々ありました。文科系学部の場合は極端にいうと、大学に來ないでアルバイトをしていても、社会勉強だからいいんだという理屈が通っていたように思います(笑)。もちろん教室で勉強するだけがすべてではないのですが、やはり大学の中でどれだけいろんなことに関心をもつて勉強するかが大切です。そのために政策学部では、1クラス20人ほどの小クラスを1年次の段階から採用し、専任教員ができるだけサポートして問題意識や興味を自己確認してもらいます。教員もそれを聞いてアドバイスするフェイス・トゥ・フェイスの教育を行います。充分にケアすることで学生にモチベーションを持続してもらおうと考えています。

林田●学生のモチベーション維持は、工学部にとっても重要な問題です。環境システム学科では環境問題を解決する基礎を身に付けることはもちろんですが、実験やフィールドワークを通して自然科学を学ぶ楽しさも実感してほしいと考えています。



―話は戻りますが、政策学部も工学部の2学科も社会工学を重視していますね。いま社会では即戦力となる特定のスキルの修得を大学教育に期待する傾向も強く見られますが、その点についてはいかがでしょうか。

真山●世間では即戦力が重視されがちですが、特定のスキルを武器に社会で活躍しようと思っても10年もつかどうか疑問です。世の中は即戦力だけですべて回っているわけでは

ありません。政策学部では社会科学系の基礎を幅広く学び、どのような状況に置かれても的確かつ柔軟に対応できる能力を身につけます。ですからすぐ即戦力になるようなスキルを身につけるという事とは一線を画します。実際に社会に出れば否応なくスキルを身につける必要が出てくるかもしれませんが、逆に必要に迫られると案外簡単に身につくものです。法学部の学生が建設業や不動産業に就職すると、学生時代には取得に苦労していた宅建主任の資格などは簡単に取れてしまったりします(笑)。

川崎●政策学部と工学部では、その点についてはちょっと違います。工学部では、大学で一定のスキルを修得しておく必要がありますね。

林田●学生の時に、研究などを通して自分なりにスキルを修得しておく、社会に出てからも関連するスキルを身につけやすく、新しい分野にも挑戦しやすい。しかし、あまりやり過ぎると専門学校とどこが違うのかということになる。だから広い視点とスキル、そのバランスが大事ですね。

―教員についてもバランスを重視していると同じですが。

林田●そうですね。環境システム学科の専任教員数は9人ですが、うち7人に外部から来ていただきました。国立大学の理学部や医学部で教鞭を執っていた教員など、工学部以外の比率が高いのが特徴です。医師免許は取れませんが、医療関係の勉強はできるし、農学などに興味を持っている人たちにも充分対応できると思います。

川崎●情報システムデザイン学科は、全員外

部から招聘した教員で構成されています。システムデザインは、やはり世の中に何が必要とされているかを見通す目が不可欠ですから、大学で高度な技術を専門にしている教員のほかに、広い視点をもった民間の研究機関からも採用しています。

真山●政策学部は、22人の教員でスタートする予定ですが、そのうち21人が新規採用です。学内から移籍するのは私ひとり。政治学・行政学、経済学、法学、組織論・マネジメントの4分野からバランスよく集まってもら



真山 達志  
【政策学部設置準備室長】

法学部教授。2004年4月から政策学部長就任予定。専門は行政学、特に政策実施研究。



林田 明  
【新学科設置準備委員】

理工学研究所・工学研究科教授。専門は地球科学で、環境変動や地殻変動などの研究を行っている。



川崎 廣吉  
【新学科設置準備委員】

工学部教授。専門は数理生物学。

## 政策学部

### 一問題発見・解決能力を 備えた人材を養成一

グローバル化や複雑化が急速に進んでいる現代社会で強く求められている「問題発見・解決能力」に優れ、社会の中核で活躍する人材を養成。「政策」をキーワードにこれに関連する知識、理論、手法の基礎を体系的に学び、実践的なトレーニングを展開する。今出川・新町キャンパスで4年間学ぶ唯一の学部。入学定員400人。

## 情報システムデザイン学科

### 一人間の活動を支援する 情報システムを研究一

情報システムデザイン学科では、人文・社会分野の基礎知識を持ち、コンピュータを高度に使いこなす能力を持ち、情報システムをデザインするエンジニアの育成をめざす。研究分野は、「ビジネス情報システム」「情報デザイン」「情報学とナレッジマネジメント」「センシングとコントロール」「シミュレーションとバーチャルデザイン」「ネットワーク情報システム」等。入学定員100人。

## 環境システム学科

### 一地球環境と 生命環境を軸に研究一

地球をひとつのシステムととらえ、地球環境、自然環境保全、循環型資源・エネルギーなどに関する専門的な知識と技術を身につけ、さらに福祉や介護を含めた人間環境を理解してより良い生活の環境設計に携わる人材を育成。研究分野は、大きく分けて「地球環境分野」と「生命環境分野」の2つ。入学定員50人。

ついでいます。  
— 4年後の卒業生の進路についてはいかがでしょう。

真山 ● 政策学部の卒業生は不向きな職業がないといっても過言ではないほど、幅広い選択肢が期待できます。公務員、政治家、ジャーナリスト、NPO職員をはじめ、企業でも必要不可欠な人材として迎えられるでしょう。公務員などへの就職ももちろんサポートしますが、より企業への就職を増やす工夫をしていきたいですね。

川崎 ● いま、どの企業でも情報システムを必要としているので、そういう意味では多くの企業が必要としている人材ではないかと考えています。情報システムデザイン学科の卒業生は高度情報システムエンジニアとして、通信機器メーカーやソフトウェア関係にとどまらず、病院やメーカー、サービス、流通、学校や官公庁など、情報システムデザイン的应用が可能なあ

らゆる分野で活躍できると思います。

林田 ● 環境システム学科も幅広い分野での活躍が期待できます。環境やエネルギー関連産業、建築土木分野、コンサルティング、医療や福祉介護関連業界などのほか、環境部署を設置している一般企業への就職も考えられます。

### 各学部・学科が切磋琢磨していく

— 政策学部、情報システムデザイン学科、環境システム学科の新しい試みは、既存学部や学科にもインパクトを与えるのではないのでしょうか。  
川崎 ● インパクトというか、影響という点では他学科の受験動向への影響が考えられます。しかし、どのような影響を与えるのか充分分析しきれていない部分があります。

真山 ● 私は、ほかの学部や学科に遠慮しているとは思っていません。そのような遠慮は大学全体の活力の低下につながります。同

志社大学には、法、経済、商とすでに3つの社会

科学系の学部があり、文学部にも社会科学系があります。その中にもうひとつ学部をつくるわけです。新しいものと既存のものが相互作用で刺激を与えあって切磋琢磨していく。そういう関係になればと思います。他大学にある類似の学部と競争するのはもちろん、学内でも他学部に負けないやというくらい意識を持つことが必要ではないでしょうか。

林田 ● いい意味での緊張関係ですね。それとともに、文科系、理工系といった学部を超えた共同研究がもっと盛んになればと思います。また、社会のニーズに応えていくことも大学として大切ですが、社会の世論をリードしていくようなものを同志社からどんどん発信していきたいですね。

— 本日はありがとうございました。今後とも新たな取り組みに向かって頑張っていたければと思います。



—来年度就職を目指す皆さんへ—

# 自分自身を知ることが 就職活動の第一歩！

## 就職をとりまく状況

2003年度(2004年4月採用)の卒の採用状況は、2002年度実績に比べ0.4%増と、2年ぶりの増加となりました(日本経済新聞社「2004年4月採用状況調査」)。しかし、統計上は増加とはいえ、

就職への厳しさが緩和されたといえるまでではありません。業績回復の傾向にはありますが、コア人材への需要の高まりなどを背景に、質の高い人材が求められる傾向にあるようです。

各企業は員数合わせの採用ではなく、将来の幹部社員候補たる、意欲ある優秀な人材だけを確保する厳選採用を行っています。そのため優秀な人材に対する内定の早期化がますます進むと同時に、反対にピーク時に内定を得ることのできなかつた学生にとっては、就職活動が長期化するという二極分化が顕著となっています。

また、採用の形態においても産業構造の変化や雇用の流動化に柔軟に対応するための通年採用や即戦力を重視した中途採用など様々になっています。このような早期化、長期化、多様化の流れは2005年4月採用の就職戦線において更に拡大していくことでしょう。

また、昨今の混乱した国際状況、世界同時不況の進展、大量のリストラなど様々な企業を取り巻く環境から考えれば来年度の就職状況は、大変厳しいものになることが予測されます。

## 今年度就職活動をした 先輩からのメッセージ

(二〇〇三年度 就職に関するアンケートより)

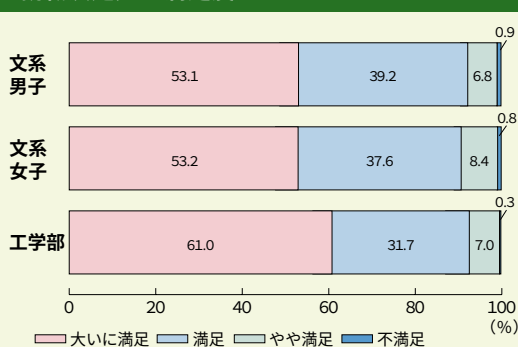
- ◎経済男「機械メーカー」興味のある分野・業界はとりあえず全て回ってみたい。私は金融や旅行業など、たくさんさんの寄り道をしました。それぞれの特徴をつかむことができ、自分の進路に大きく影響しました。
- ◎法律男「機械メーカー」企業の規模よりも、知名度より、自分に適した会社、働きやすい環境を見つけることを重視した方がいいと思います。
- ◎エレクトロニクス男「自動車部品メーカー」自分がなぜの会社に入りたいのか、その会社に入ってから具体的にどのようなことがやりたいのかというのを早い時期に明確にしておくべきだと思います。
- ◎社会男「サービス」年々競争率は激しく、状況は厳しくなっていくので、面接に進むまでのステップとなる筆記試験の勉強は、活動が忙しくなる前にじっくりと取り組んでおいた方がいい。
- ◎経済女「都市銀行」始めるのが早ければ早いほどいいと言われてきたが、本当にその通りだった。何をすればいいか、何がしたいかわからない人は特に、とりあえず動いていくことが大切だと思う。セミナー・面接を重ねることに自分というのが見えてくるし、強くなっていくと思う。
- ◎経済女「図書館」地方出身の文系女子学生には、就職活動は非常に厳しいものでした。なるべく早い段階で、Uターンするかどうかを決め、Uターンに決めたなら情報収集を怠らないでください。
- ◎英文女「サービス」とりあえず行きたが、会社には早めに応募した方がいいとは思いますが、早ければいいというわけではないと思います。初の面接が第一希望で落ちたというところもあります。やはり経験で熟成されるころもあると思うので、両方考えて応募するべきかもしれません。
- ◎院・院「機械メーカー」最近では学校推薦でも実力重視で選考されるので、自由応募で色んな企業を回り、面接でしっかりと自分の考えを伝えられるようにしておいた方がいいと思います。
- ◎法律男「公務員」就職活動は、情報を手に入れることが大切だと思います。間違った情報と正しい情報を区別して活動してください。
- ◎商女「機械メーカー」OB・OG訪問はとても緊張しますが、やるべきだと思います。インターネットや会社案内から作った志望動機よりも先輩の生の話を聞いて感じた志望動機の方が、熱意が伝わります。自分自身も自信を持って語ることができそうです。
- ◎英文女「製薬」面接での受け答えはあまり作り過ぎずに素直に答えた方がいいと思います。身だしなみは最低限のマナーを確実に守った方が得です。ボサボサ頭やしわのシャツは、即アウトです。



## 企業が求める人材

それでは、このような時代に、企業はどのような人材を求めているのでしょうか。たとえば、飛びぬけた特別の能力を持たないのに、早々と内定を獲得する学生がいます。そう

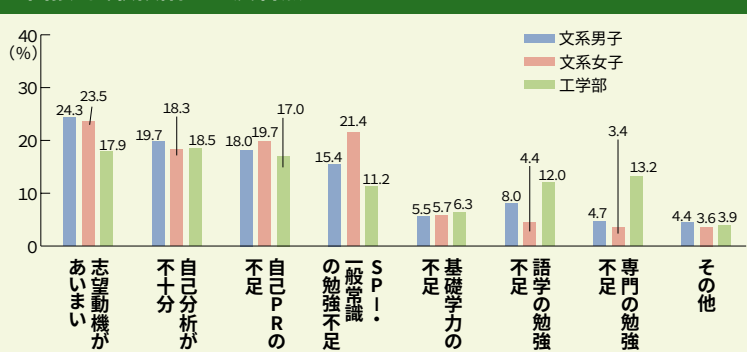
就職決定先の満足度



いう学生の特徴は、よく学び・よく遊ぶなかで、「人間力」を蓄えることができています。この「人間力」とは、人を思いやる力、他者とのコミュニケーション力、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される、その人の人柄、人間的魅力です。

企業は、あなたが今までに、どのような生き方をしてきたのか、どのようにものごとに取り組んできたのかを見ようとしています。

面接・試験段階での反省点



それは、就職後、あなたがどのように仕事に取り組むかに結びついているからです。

今までに何を考え、どのように生きてきたのか(自己分析)、これからどのような道を歩もうとするのか(職業観の形成をよく考えてください)。これらの分析が明確にできていて、自分の言葉で語ることでできる学生を企業は求めています。この自己分析や職業観の形成がしっかりできている学生は、厳しい就職状況下においても満足する結果を得ることができています。

院・法電機メーカー「自分の経験を、自信を持って話してください。自分の短所も受け入れてくれる企業こそ、自分に合う企業であると思います。」  
 ◎法律男電機メーカー「面接では自分の言いたいことをしっかり言うことも大切ですが、同時に相手を何と聞きたいのかはつきりと理解することも大事なことになりますので、気を付けてください。」  
 ◎法律男公務員「公務員試験の受験を考えている人は、まずなぜ公務員になりたいのかを明確にしておくこと。そして、受験する試験種を早く決めること。予備校に行く・行かないは関係なく、自分の努力次第で合格できる。」  
 ◎政治女公務員「公務員を試みず人は、筆記試験だけに終わられがちだが、二次試験(面接)以降の対策もきちんとしておくこと。志望動機、自己PR、どうしたら人に好印象を与えられるかを考えておくべき。」  
 ◎法律男地方銀行「セミナーや面接で知り得た学生などの交流や人脈は大事にすべき。他社選考の生きた情報を聞き出せるだけでなく、仲良くなると就職活動の愚痴を言い合ったりして、気分的にも楽になる就職活動が多量に少なくなる。」  
 ◎心理男事務機卸売「就職活動には決まったやり方や、これをすれば必ず受かるといったことがありません。自分の考え方に沿って進めることが重要です。そのため、自分の考え方をしっかりと理解していないといけない。面接を受けていきながら分かっていくものなので焦る必要はありませんが、早めに意識を持つことがよい結果につながります。」  
 ◎院・法女電機メーカー「大学院生(文系)の方へ企業によつて大学院への態度は様々です。なぜ大学院へ進学したのか、大学院まで行ったのになぜ就職するのかが必ず質問されます。自分なりの考え、前向きな答えができるようによく考えてください。」  
 ◎院・政治女石油活動中に社会のことや企業のことの少し見えてきて、自分のやりたいことと進みたい道が変わることもあります。活動中も常に自己分析を心がけ、これは(やりたいこと)と「ちがう!」と思つたら柔軟に方向転換することも重要ではないかと思ひます。」  
 ◎経済女政府系金庫「どんな時もあきらめず、前向きに自分に自信を持って活動を続けなければなりません。壁にぶち当たった時はもう一度原点に戻り、自己分析をやり直してみてください。意外な発見があると思ひます。そして、一番大切なことは、自分の頭で考え、自分の足で行動することだと思ひます。笑顔を忘れずがんばってください。」  
 ◎英文女信用金庫「人と比べて焦らないことです。自分は自分でいいと思ひます。思ひつめないでください。」  
 ◎社会女専門サービス「就職活動は、一人で抱え込まない。家族、友人、就職部の人たちに積極的に相談しましょう。」

## 同志社人訪問

# シマノレーシング所属 ロードレーサー 今西尚志さんに聞く



南口 ● 実業団チーム シマノレーシングのキャプテンとして自転車競技界を引っ張る今西さんは、僕たち体育会自転車競技部創設の功労者です。まず自転車競技を始めたきっかけからお聞かせください。

今西 ● 中学時代は野球部だったのですが、高校

では何か新しいスポーツをやろうと思っていました。たまたま高校に自転車競技の同好会があって、自転車競技の経験者だった友人と軽い気持ちで入部しました。でも1年後にはすっかりのめり込んでいました。

南口 ● のめり込んだのには理由があったのですか。

今西 ● 最初は自転車というものを甘くみていました。でも始めてみて、これほど辛いスポーツはないと気づいた時に「やる価値がある」と思いました。例えば、数キロの山道を登ってタイムを計るレースがあるのですが、僕はしんどい局面になればなるほど力を発揮することができ、自分に向いていると分かったのです。また、一般的にスポーツは体格の大きい人が有利です。ね、自転車競技でも体格が良ければ直線コースでスピードが出ます。でも僕のように体重の軽い選手は、登りコースで楽というメリットがあります。チーム全体で見るとそれぞれの体格に応じた役割があることも魅力でした。現在34歳なので、もう20年近く続けてい

ることになりますね。

同志社大学ではサイクリング同好会はずであつたのですが、自転車競技の活動はなかったのです。そこで、同じく自転車競技を志望していた久保吾朗（93経済卒）と、同好会内の「競技班」として活動を開始しました。南口 ● 競技班ではどのような練習をされていたのですか。

今西 ● 練習メニューは僕たち自身が考えて作り上げざるを得ませんでした。自宅が嵐山にあったのですが、嵐山から木津まではサイクリングロードが繋がっていて、途中の京田辺校地までの片道約40キロを、毎日自転車通いで通いました。練習と通学を兼ねていたわけです。

ただ、大会で優勝した時など、他大学のチームが立派な、自転車競技部の旗を掲げているのに、僕たちは「サイクリング同好会」の旗で

いまにし ひさふみ  
今西 尚志さん  
【1993年商学部卒業】

1969年、京都府生まれ。同志社大学サイクリング同好会（現・体育会自転車競技部）に入部し、1991年全国日本大学対抗選手権自転車競技大会ロードレース3位、1992年全国都道府県対抗自転車競技大会4000M団体追抜き1位など、輝かしい戦績を残す。1993年株式会社シマノ入社、シマノレーシング所属。現在はキャプテンとしてチームを統率する。2003年全国日本実業団個人ランキング2位。





## シマノレーシング所属 ロードレーサー 今西尚志さんに聞く



(笑)実績を積んで早く体育会に加盟しようと努力しました。僕が卒業した翌年には体育会に準加盟することができました。

南口 ● 今西さんのおかげで今の僕たちの部があるんですね。卒業後は株式会社シマノに入社され、シマノレーシングに所属されました。今西 ● ええ、3年次生の1年でインカレ(全日本大学対抗選手権自転車競技大会個人3位)に入賞したので自信がつき、もっと高いレベルをめざそうと考えたのです。

南口 ● やはり実業団での選手生活は厳しいのでしょうか。

今西 ● 学生時代はプレシャーもなく、大会ではある程度力を発揮できたのですが、実業団チームとなると競技も仕事の一つですから、1年目はあまりうまくいきませんでした。

南口 ● スランプに陥ったのですか。

今西 ● 所属選手は、会社から練習時間を与えられます。入社後1年半頃までは良かったのですが徐々に成績が落ち、3年目のシーズンには会社から二重落ちを宣告されました。フルタイム勤務の後でないと練習ができなくなったのです。その時、練習時間を与えられているという環境の良さが身に沁みました。もう一度戻りたい、まだまだできるのに辞めてしまうのはもったいない。そこで「なにくそ」と俄然やる気が出て、今度は結果が付いてきました。初出場した大会で優勝することができたのです。この優勝をきっかけに、一軍にも復帰できました。

南口 ● 練習は毎日されるのですか。

今西 ● 基本的に毎日です。1週間で約700キロ走りますね。

南口 ● 大きなケガはありませんか。

今西 ● ロードレースは一般の舗装道路で行われるのでスピードは時速100キロ近く出ます。わずかな窪みなどで前方の選手が転倒すると、後続はだんご状態となって非常に危ない。僕自身も落車して輓帯を切ったことがあります。

南口 ● 雨の日でも、練習は休まないのですか。



今西 ● 雨は嫌ですが、練習できず弱くなるのはもっと嫌ですね。そんな時は、関西の選手たちはみんな雨で練習できないからいいけれど、関東の選手たちは今頃練習しているかもしれない、負けていられない、と自分に言い聞かせて練習に出ます。

南口 ● 年間ではどのくらいレースがあるので

すか？

今西 ● 約50レースです。だいたい毎週レースがある計算ですね。ただステージレースという種目があり、これは1週間から10日間毎日続くものなのです。つい先日モレーシアで10日間連続、1日に100キロから150キロ走るステージレースに出場しました。

2月に行われたタキシムでの大会は21日間連続で、世界3大レースであるツール・ド・フランス、ジロ・デ・イタリア、フェルタ・ア・ラ・パニーニヤと同じくらいの距離を走ります。選手のレベルはそれほど高くありませんが、海拔二千五百メートルの高地を抜けるので、遠征から戻った後は、高地トレーニングをしたかのように身体がとても楽でした。

南口 ● 普段は、社員としてのお仕事もありませんか。

今西 ● ええ、レーシングチームの運営や会計、スポンサーとの連絡が主な業務です。また当社は自転車部品が主力のメーカーなので、自転車の楽しさをより多くの人に知ってもらう活動の一環として、レースイベントを開催していますが、会場で初心者の方たちを対象にした講習会の講師を務めたり、また販売店



シマノレーシング所属  
ロードレーサー 今西尚志さんに聞く

のクラブチームを指導したりといった活動も行

っています。他に、試作品の段階でのテスト走行もします。通学・

買い物用自転車、オートマチック変速機の耐久テストのために、工場のある山口県から大阪まで往復したこともあり

ます。一般の人が乗る1年分以上の距離を乗らない

といけません。ヨーロッパに輸出する部品も多く、気温が低い地方でも作動するかを確かめるために、冬の旭川でも走行しました。道路が凍るなか、スキーウェアを着て市内をぐるぐる回っていたので、街の人は変に思っ

たかもしれません(笑)。

南口●自転車競技は、日本ではまだマイナーなスポーツのように感じますが。

今西●僕自身も、先程言ったように自転車競技を甘く見ていたところ、格好の悪い、マイナスなイメージすら抱いていました。でもそう思われるのが嫌で、競技性のあるハードなスポーツだとアピールを続けています。

南口●自転車競技をやっていると言うと、大抵の人は競輪と思うようですね。

今西●ロードレースは団体競技ですからね。チームのキスを勝たせるために、別の選手が

風よけとなって先頭へ出たり複雑な動きをしますし、他チームとの思惑が合えば協力しあう作戦をとることもあり、色々な要素が絡み合う競技です。たしかに、観る側にある程度知識がないと分かりにくいところはあるですね。

自転車競技が盛んなヨーロッパでは大人から子供までよく知っていて、日本とはずいぶん差があります。ただここ何年かは興味を持ってく

れる人が少しずつ増えてはいるようです。

南口●日本の自転車競技レベルはどうなのでしょう。

今西●ちょうど転換期だと思います。日本人が世界3大会を目標にするには、実業団チームという体制から、もっと競技に集中できるプロ契約へと移行していくことが必要でしょうが、その傾向は現れてきています。何年かかるか分かりませんが、出場するだけではなくメダルを取ってくる選手は今後出てくるでしょうね。

僕も学生時代にオランダに渡り、1カ月間各地のレースに参加した経験がありますが、若くて体力がある間に海外経験は積んでおいた方がいいと思います。

南口●分かりました。最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

今西●僕が学生時代に何をやっていたかと聞かれれば、自転車に乗っていたとしか言えませんが、学業でもそれ以外の活動でも何でも良いので、学生時代に何をやっていったのかと卒業後に自信をもって言える、そういう学生生活を送って欲しいです。そして、現在いる環境、与えられている環境を当たり前だと思わず大事にしてほしい。精一杯行動していれば必ず得るものがあると思います。

南口●今西さんのこれからの目標を教えてください。

今西●近々アテネオリンピックへ向けての全日本選手権が控えています。2人ある代表選手枠を、ぜひチームで獲得したいです。

南口●僕たち自転車競技部の後輩も応援しています。

今西●ありがとうございます。

今西●ありがとうございます。

## INTERVIEWER



みなみぐちあつこのり  
南口厚哲さん

【工学部機能分子工学科1年次生】

体育会自転車競技部所属。高校時代、ふと久しぶりに乗った自転車のスピード感がやみつきになり、自転車競技に興味を持つようになったという。インタビュー収録当日は出場するロードレース大会の直前で、今西さんから具体的な技術指導を受けることができた。

自転車競技部の後輩として、  
貴重なアドバイスをいただきました。

僕は今年の6月から本格的なトレーニングを始めましたが、今西さんのお話をうかがって、自分の練習量の少なさを反省しました。授業が非常に忙しい時でもそれを言い訳にせず、早起きして朝6時から練習をされていたとのこと。また、シーズンオフの練習方法について、「大会がオフになるだけで、練習のオフなんてない。自転車にまたがる時間を増やせば、得意な分野も個人的な課題も見えてくる」というアドバイスに感銘を受けました。間近に迫った大会に向けて、気合を入れて頑張ります。

来年のインカレは地元・京都での開催。今日のアドバイスを胸に、インカレで上位入賞をめざします。



秋学期から、読売新聞社との共催事業として、アメリカ・イギリス・ロシア・フランス・ドイツ・韓国・インドネシアの7カ国の大使を講師として招聘し、法学部の正課授業として特殊講義「大使講座—今、世界を語る—」を開講した。

10月7日、その第1回目としてアメリカのハワード・H・ペーカー

駐日大使を招き明徳館21番教室

で講義が行われた。会場を埋めた学生らは大使の講義に熱心に耳を傾け、質疑応答では次々と手を挙げて質問していた。また、大使の講義を踏まえて、山口勉氏(読売新聞東京本社編集局国際部長と同科目の担当者である村田晃嗣法学部助教授の両氏によるディスカッションも行われた。

「ここが本当に不況といわれている国なのか。ペーカー大使は、2年ほど前に駐日米国外務省として初めて東京を訪れた際、ビルの建設ラッシュや高級店に集う多くの客をみてそう感じたという。少子高齢化や海外移転による産業空洞化などの問題はあがあるが、富の蓄積や人的資源などをみても、日本はいまも世界第2位の経済大国だと評価する。しかしながら、日本には、将来のビジョンがないという。『世界の大国である日本には、責任がともないますが、将来どうしたいのか、まだはっきりしていないように見えます』と述べ、これからどのような国になりたいかを自ら意思決定することが大切だと強調した。そのうえで大使は日米関係にふれ、『日本とアメリカは共通の利害と価値観で結ばれ



ハワード・H・ペーカー アメリカ駐日大使

## 「大使講座—今、世界を語る—」

ています。しかし今後、意思決定していくなかで対立や意見の不一致があるかもしれない。そのような時お互いの国を理解しあうことが大切。その両国の理解を促進するのが私の役目です」と語る。

講演後には学生たちとの質疑応答が行われ、そのなかで大使は直近の問題であるイラクへの自衛隊派遣についての質問に「自衛隊派遣は、日本独自の国益によって判断すべきもの。しかし、大国には世界の平和をつくっていく責任がある」と強い期待感を示した。北朝鮮問題に対しては、核開発などを脅威とし、6カ国協議の枠組みによる解決を図るべきだと述べた。また、大使は在日米軍基地にもふれ「戦後、我々は日本の防衛の盾になる約束をしました。しかし、時間が経ち基地の役割も変わった」とし、状況に応じて基地のあり方を見直す可能性があることを示唆した。

講義を通して、大使は「大国の責任」という言葉を何度も使った。しかし、その責任がテロ対策などの安全保障面に偏りすぎているとして「環境面では京都議定書を離脱するなど、大国としての責任を果たしていないのでは」という質問も出た。それに対して大使は「京都議定書が本当にうまく機能するか疑義があります。環境問題はシンブルではなく複雑。バランスが大事です」と語る。米国はいつも時代や状況を考慮しながら自らのビジョンを示してきた。国の指針になる憲法もそうして何度も改正してきた。日本の憲

法改正についても「議論を通して進む道を見つけていただけたらと思う」と述べた。「若い人こそ日本の将来を決めていかなければ大使はそう語った。自己責任で自己決定していく。それは何も国というレベルではなく、一人ひとりの生き方にもあてはまるだろう。

日本で初めて、しかも京都での「大使講座」である。突然のキャンセルはないか、警備は万全か、受講生の反応はどうか等々——開講するまで冷や冷やしていた。だが、今のところは大成功である。受講生からは好評で、わざわざお越し願った大使からも満足していたという。

さすがは主要国の大使だけあって、スケールの大きなお話をしてくださる。若者に将来への責務を力強く語ったペーカー大使と歴史や理論をつぶさに説いたシュミット・グロウ大使(ドイツ)、東北アジアの地域協力の重要性を力説した趙大使(韓国)と、持ち味はそれぞれである。

こうした質的な知的刺激を受けて、受講生のみならずには、国際関係の中の日本と外交の役割について、改めて真剣に考えてもらいたい、と願っている。



科目担当者：法学部助教授

村田 晃嗣

# 新島襄の旅した風景

川口（大阪市西区）



日本基督教団大阪教会の礼拝堂

同志社のアーモスト館を設計したW・M・ヴォーリス設計の美しい教会。前身の梅本町公会は川口居留地の路地裏にあったという。

新島襄と大阪、何となく異和感のある取り合わせである。しかし、新島の足跡をたどると大阪が何度も登場する。教育家、キリスト者として私たちがよく知る新島は、同志社の創立者であり、学校設立とその維持、発展に必要な資金を調達する使命を自分に課していた。その主な舞台となったのが、ここ大阪であり、学校設立をめざして第一歩を刻んだ記念すべき土地でもある。

1874（明治7）年暮れ、上州安中に両親を訪ねた新島は、新年を東京で迎えた後、1月20日には大阪に向かう船に乗り込んでいく。22日夕刻、大阪港に入港。川口与力町三番のM・I・ゴードン邸に入る。同年6月に居を京都へ移すまでの半年間は、この邸が仮の



住まいとなる。今回の取材は、後に同志社英学校で20年間の長きにわたって教鞭をとることになるゴードンの邸を探すことから始めることにしたが、地名も街の様子もすっかり変わっているため、川口居留地研究会の西口忠氏に案内をお願いした。

川口は、大阪の都心中之島に隣接する三角州の先端部に位置する。安治川と木津川に挟まれた狭陸な地で、今は倉庫が立ち並ぶだけの殺風景な街になっている。しかし、新島が訪れた頃の川口は違っていた。日米修好



西口 忠さん  
桃山学院年史委員会委員

通商条約に基づいて1868年居留地として欧米の商人に分譲されている。すでに長崎・横浜・函館・神戸に外国人居留地があったが、商都大阪ということで人気を集め、一日で完



## 川口(大阪市西区)

神戸へ向かわせたのだ。その後入れ替わるようにやってきたのがキリスト教宣教師たちで、ゴードンも1872(明治5)年に来阪、ここに居をかまえている。

「あのあたりでしょう」と西口氏が指し示す方向に目をやると、煉瓦化粧のマンション。背後には阪神高速道路が走っていた。「ゴードン邸があった与力町三番は、正確には外国人



M・L・ゴードン邸があった界隈(川口と力町三番)を眺める西口さん。  
現在はマンションが建っている。

売したという。川口は瞬く間に、白いコロラル風の洋館が並ぶ華やかな街に生まれ変わった。川面を外輪船が行き交い、文明開化のシンボルともなった街には、見学に来る市民が引きも切らなかつた。ところが、1873(明治6)年に安治川に日本で初めての旋回橋がかけられた頃から街の様相は変わりはじめ。川底が浅く大型商船が接岸できないという川口の致命的な欠点、商人たちを



川口居留地の碑

ほんてん  
本田小学校は、日本最古の小学校のひとつで、その一画には川口居留地跡の碑とモニュメントが立つ。

居留地ではなく、雑居地にあたります。当初、居留地は地代が高く、商人でないとなかなか買えなかつたため、宣教師たちは周辺の日本家を借りて住んでいたようです。『交易の街として期待された川口は、急速に「宗教の街」へと変貌していく。その背景にあったのが、1873(明治6)年の切支丹禁制高札の撤去だ。日本にいた宣教師たちは、この吉報を本国に通知。これを受けて多数の宣教師が派遣されてきたが、現実には伝道活動が自由になったわけではなかつたようだ。明治時代のキリスト教伝道に詳しい茂義樹梅花女子大学教授にこのあたりの事情を伺うと、

「高札の撤去は、日本政府が欧米政府に対し、古い掟を廃棄しキリスト教を受け入れることを表明したのですが、国民には知らされておらず、キリスト教伝道を許すかどうかは、各府県の裁量によることとなったのです」と説明。続けて、当時の大阪府知事である渡辺昇はキリスト教嫌いでしたから、伝道の自由を認めようとはしませんでした。したがっ



茂 義樹さん(1963年神学研究科修士課程修了)  
梅花女子大学教授

て、大阪での伝道は居留地内で行うか、出張診療所を設けて聖書やキリスト教関連図書を読書室に置いておくことくらいしかできなかったのです」と語る。

そんな状況下で川口に入った新島は、まず会衆派の梅本町公会で説教を行っている。しかし、どうも熱心に伝道活動に取り組んだ形跡はない。アメリカン・ボードのラトランド年会で演説したように、大阪での関心事はもっぱらキリスト教主義にもとづく学校の設立だったようだ。来阪して3日後に、神戸からJ・D・デイヴィスの訪問を受ける。開校から同志社英学校で新島とともに教壇に立ち、学校運営を助けることになるあのデイヴィスである。二人はすでに米国で知己を得ており、デイヴィスが神戸宇治野村で英語教授所を開設していたことから、学校設立に向けて話がはずんだことは想像に難くない。翌日には、ゴードンも誘って三人で大阪市の東南部に学校候補地の視察に赴いている。この視察には後日談がある。

「新島先生たちが訪れた東南部は桃山だ」といわれています。この地には、後に川口居留地で生まれた英国聖公会系の高等英学校が学舎を建てています。これが桃山学院大学の前身です。時代が少しずれていけば、同志社は桃の名所にキャンパスを持つことになったかもしれませんね。西口氏は桃山学院年史委員会の委員でもあり、このあたりの歴史のめぐり合わせを感慨深げに語った。新島は

# 新島襄の旅した風景 9

## 川口 (大阪市西区)



木村幸夫さん  
川口基督教会牧師

この地が気に入ったのだろう。さっそく渡辺知事に面会する算段をし、大阪に滞在中の本戸孝允に轉旋を依頼するが、結局キリスト教嫌いの知事の許諾を得ることはできなかった。その後、新島の関心は京都へと移っていくことになる。

一方 女子教育の遅れを知った盲教師たち

の間で、日本人子女の教育に力を入れようという機運が高まり、各地に女学校が開設されていく。その活動がもっとも顕著に現れたのが関西では川口居留地で、照暗女学校（現平安女学院）、永生女学校（現ブール学院）、信愛女学校（現大阪信愛女学院）、ウィルミナ女学校（現大阪女学院）が次々と生まれ、居留地外にも梅花女学校（現梅花学園）が開設されていく。

現在、川口には往時を忍ばせるものはほとんど残っていない。かろうじて当時の面影を伝える川口基督教会を訪れてみた。日本聖公会に属するこの教会は、1891（明治24）年に聖テモテ教会と聖恵主教会が合併したもので、礼拝堂は1920年に建て直されて



川口基督教会

米国聖公会系の教会。川口居留地では米国聖公会系と英国聖公会系のミッションが活動し、多数派を形成した。狭い川口居留地に2つの教会を持ったという。

いる。木村幸夫牧師は、当教会は信徒も多く、東京など全国に散らばっています。由緒ある教会なので、みなさん籍を残されており、仏教の檀家に似たものになっています」と苦笑いする。阪神大震災で煉瓦造りの建物が一部損壊。修復されたチャペルからは、美しい蔦の茂みは消えていた。

川口で新島が最初の説教を行った梅本町公会堂は、その後、東方の土佐堀へ移り、現在は日本基督教団浪花教会となっている。ここからさらに東へ数百メートルほど行くと日本基督教団浪花教会がある。この浪花教会を開いた人物こそ、澤山保羅である。澤山は、新島に遅れること2年、1876（明治9）年に米国留学を終えて帰国。日本で最初に按手礼を受けたプロテスタント牧師として、浪花教会を設立する。澤山に按手した新島とはどこか似た雰囲気を感じている。茂氏は「新島先生は澤山保羅たちとともに日本基督教伝道会社を創立します。しかし、伝道や学校設立についてはアメリカン・ボードからの支援を仰ぐことも致し方ないとする新島先生と、あくまで自給を主張する澤山保羅の意見が対立。議論は深夜におよび、結局大阪だけが自給路線を歩むことになりました」と二人の関係を説明する。同志社英学校を設立した新島と、梅花女学校を設立した澤山。二人はその後も親交を深めていくが、1887（明治20）年、澤山の死をもって幕を降ろす。享年34歳であった。追悼説教において新島は「なすべきをなし、なすべからざるをなさなかつた人」としてその早すぎる死に深い哀悼を捧げている。



# 遅刻癖の感性

交通機関の運営で一番重要なのは定時性であろう。いくら豪華でスピードが速い乗り物でも、時間通りに着くのか着かないのかわからないならば、そんなものに乗る人はいなくなる。定時性を信頼性という場合もある。

授業をしていると、遅刻して途中で入ってくる学生が気になってしまう。プリント配布を進めているため、プリントが手元になくて理解できるのだろうかとか心配になるし、また当然のように、授業時間の最後に出席票を取りに来るところも釈然としな。学期も半ばになると、毎回遅刻してくる顔ぶれが固定されてきて、こちらも判別できるようになる。

遅刻癖というのはなかなか直らないようで、高校時代からの友人で、ほとんど毎日のように遅刻をし、大学でも会社に入っても遅刻のYちゃんとして有名なのがいる。学生時代はまだいい。遅刻をしてもただか先生に怒られ、通信簿につけられるだけである。大学なら、叱られもしないし成績にも残らない。

Yちゃんの遅刻には、わたしは慣れっことなっていてしまったが、共通の友人とし

て最近知り合った方が、ある日Yちゃんに炎天下で1時間近く待たされた、とすごい剣幕で電話をかけてきた。「いつものことですから、わたしなんかはもう累計で1週間くらい待たされてますよ。」と答えると、「誰に対してもそうなの？ 私だからばかにして待たせているのかと思ったわ」と憤慨していた。

そのとき、Yちゃんにうつすらと感じていた違和感の正体を見たような気がした。常習的に遅刻をする人は、待ち合わせには相手があるということを意識していない、いわば傍若無人なところがある。しかも実質的な損害（映画の上映時間に間に合わなかったとか列車を逃したとか）がなければ遅刻してもたいたことじゃないし、実害があってもあやまればそれでマイナスポイントは清算されてしまう、と思っているようなのである。遅刻する側は頻度が多すぎて遅刻したことが忘れられているようだが、される側にはどんないやーな感じが濃のよう蓄積されていくのである。待っている側が、事故があったのではないかと、いろいろと心配をしているということもイメージできないのだろう。

仕事の場合なら、遅刻はなおさら障害となる。小説家の山本一力氏はエッセイで、以前会社勤めをしていたころやはり遅刻癖があり、あるきっかけで職場の全員から軽く見られていることに気づき、きっぱりと遅刻をしなくなった、と書いていた。Yちゃんは遅刻が多いくせに残業を山ほどしてい

て、とうとうその会社の中心部門から、残業がしたくてもできないような閑職に左遷されてしまった。本人は大いにへこんだようだが、その話を聞いても同情する友達ほとんどいなかった。みな彼女の遅刻の犠牲者だったからである。彼女は、遅刻が左遷の原因とは、爪の先ほども思っていないかったようであるが。

仕事でもプライベートでも、遅刻をする人は信用されない。そしてしばしば本人はそのことに気がついていない。毎時間のよう遅刻する学生をみていると、多少うるさながらも、そういったことを自覚させたほうが、本人の将来のためではないかと思う。



商学部教授

**青木 真美**  
Mami Aoki

1955年東京都生まれ。1978年早稲田大学政経学部卒。財団法人運輸調査局研究員、情報センター部長を経て、2003年度より現職。専門分野は交通論。主な研究テーマは都市交通、鉄道政策。趣味は歌舞伎鑑賞、スポーツ観戦。

# フィールドワークと経済学説を 通して産業の集積と特区 を研究する

経済学部経済学科 西岡 幹雄ゼミ

「企業家活動と経済学、日本の比較世界認識」を研究する西岡ゼミ。  
「実際に人と会って調査をすることで、基本的知識や学説を客観的に  
評価し復元できる」という西岡教授の方針のもと、3年次生は現在「構  
造改革特区」についてフィールドワークを行っている。今回のゼミでは、  
4年次生が昨年度行った「産業の集積」についてのフィールドワークの  
成果が発表された。



西岡 幹雄

(経済学部教授)

高岸 ● 僕たちは観光産業の集積について研究  
しました。どの地域でも「観光化する」つまり  
観光産業を推進すれば豊かになると言えま  
す。でも、そういったマクロ的な見方ではなく  
「観光化される側」のことを僕たちは考えまし  
た。例えば京都の嵐山・嵯峨野では、紅葉シ

ズンになると観光客が押し寄せますが、環境  
政策が整っていないので、地域住民が道を利用  
できなくなるなどの不便が生じています。集  
積による負の効果が住民にどのような影響を  
与えるかは、その地域に住むうえで重要なこ  
とだと思っています。

山田 ● 僕たちのグループは、同種の産業が集積  
して経済に相乗効果をもたらしている地域は  
どこか、まず京都市商工会議所に取材し、機



械部品製造企業が丹後地方に集積しているこ  
とが分かったので、さらにこの地域の産業に詳  
しい方たちの話を聞き、結局、数社の社長さ  
んから直接お話を伺うことができました。

坂下 ● 社長面談を通して医療機器や飛行機  
の部品など、独自の技術力と、安価な地価な  
どの利点を生かせば、山深い地域でも産業は  
しかり成立します。ちりめんの産地としてし  
か知らなかった地域の新しい姿を見ることがで

きました。

西岡 ● 基盤としてのちりめん産業が最初にあ  
り、派生的に機械工業へと発展していったイ  
スといえますね。

菊地 ● 私たちは電気産業の集積について、門  
真市の状況を調査しました。電気産業も空洞  
化が叫ばれていますが、空洞化を止めるため  
下請け会社を地域に集約させることも一つの  
手段かもしれません。企業競争力の強化と  
いう点では人件費の安い海外へ移転すること  
も考えられます。そのバランスをどう取るかが  
課題となっていました。

今回の取材にあたって対応いただいたのは人  
事部の方でしたが、たいへん真摯に答えていた  
だし、感謝を受けました。

坂下 ● 僕たち自身もしっかり研究して学び取  
ろうとしますし、企業の方も、学生から何か  
を得ようという姿勢でおられると感じました。  
学生と企業との間に、このような関係がもつ  
と築ければいいと思います。

山田 ● 実際、社長さんと話をしている時に、  
「何かいいアイデアないかなあ」と逆取材され  
たこともありました。

西岡 ● いま企業には、供給サイドからの発想  
では新しいものは生まれにくいという認識が  
あり、需要サイドが考えていることを、いかに  
いち早く商品コンセプトに採り入れるかが共  
通した課題になっています。売り手・買い手と  
いう関係を超え、消費者自身が構想・開発に  
参加しないと、新しい商品やサービスの持続的  
な流通性は生まれにくいという状況なのです  
ね。企業内部だけで雷船構造を変革するのは  
不可能なので、若者の発想を高く買っている  
わけです。企業レベルでも、産業レベルでも、政



## フィールドワークと経済学説を通して 産業の集積と特区を研究する



立川さん(4年次生)



坂下さん(4年次生)



山田さん(4年次生)



高岸さん(4年次生)



菊地さん(4年次生)



松村さん(3年次生)

集積の検証をもとに、経済発展のきっかけ、弾みをつけるにはどうしたら良いかを研究するのが3年次生の研究テーマ「構造改革特区」ということになりました。大阪港の国際交易特区、大阪・千里のバイオメディカル・クラスター、神戸の国際みなと特区、ポートアイランドの先端医療特区などですね。

松村●新しい薬をつくるためには、日本には多くの規制が存在します。例えば、外国人研究者が日本に滞在する期間にも規制がありますし、臨床実験にも時間がかかりすぎます。それらを緩和するための特区がポートアイランドの医療特区です。

西岡●もともと大阪の中心部には「薬の街」という一面がありました。もはや一般大衆薬



では付加価値が生まれていくなくなっています。しかし、新薬の開発にはリスクもありますが、反面大きな収益を生む可能性のある産業で、経常利益率の高さを通じてブランド価値の形成にも大きく影響を与えます。そこで大阪は大学を中心として「創薬の街」を再興させようという特区を千里に創りました。一方神戸は臨床実験、再生医療、特定医療機器開発のための特区で、若干性格が違います。研究成果でその違いを出してもらえたら成功ですね。

坂下●2年次生までは教科書を読んでまず理論を勉強しますよね。でも実際フィールドワークで企業側の話を聞くと、まったく違う発見があります。4年次生になって、卒業研究のためまた教科書に帰り、机上でしっかり検討するのですが、一度企業の現場を見ているので、その教科書も新しい視点で読むことができるようになったと感じます。

菊地●西岡先生は、企業へのアポイントメントを取る際、「何でも良いから、まずは自分たちで頑張つて来なさい」というスタンスで、私たちの背中をポンと押してくださいました。

就職活動が終わった今、その頃のことを振り返ると、アポイントメントを一つ取ることにしても、企業は私たち若者の行動力に期待していることがうかがわれました。

立川●僕たちは教室で仮説を立ててから実際の調査に行くのですが、やはりその仮説とは違うことが企業では起こっていました。

西岡●基本的に学説的な箇所を自分で整理して、そのうえで実地にあたる。実地では統計的指標や定性的傾向が出てくるので、今度はそれについて分析する。最後に集計した成果は、中期的には5年、長期的には10年というかたちで、卒業してから現れます。経済を自分自身で復元でき、構成することで自分自身が進化し、そしてそれをreconfirmする。これが最終的に財産になっていきます。

そしてこういってゼミ、そしてフィールドワークの最終的な目標としては、自分たちが入学してきたときの経済学の勉強が、社会のどこに位置付けられるのかをはきりとさせてもらったそれだけで良いのです。社会科学、経済思想、歴史の中で自分はどこにいるのかを見極めて欲しいと思います。



# CAMPUS NEWS

キャンパスニュース

2003年9月～11月

## 一神教学際研究センター設立記念講演会「日本の精神性と一神教世界」開催

10月11日、今出川キャンパス明徳館で、一神教学際研究センター(CISS MOR)設立記念講演会「日本の精神性と一神教世界」が開催された。

一神教学際研究センターは、同志社大学に設けられた21世紀COEプログラムの研究拠点で、ユダヤ教・キリスト教・イスラームの3つの一神教世界内における対立・抗争の原因を学際的・総合的に研究し、「文明共存のためのスペシャリスト」養成をめざすもの。今回の講演では、土井利忠氏(〇二株式会社上席常務)が『社会の進化と宗教性』、板垣雄三氏(東京大学名誉教授)が『日本人のイスラーム観 一神教とは肌が合わないか』をテーマにそれぞれ講演を行った。

まず土井氏は、「すべての人間はあらゆる既存の宗教とは無関係に、心の奥に宗教性を備えている」というユングの言葉を前提に、近代文明社会が科学的合理主義の名目で宗教性を切り捨てたことによって社会にひずみが生じていると分析。そして「現在の社会状況の変移は、中世的社会から近代文明社会への変移と同程度に劇的なものだが、



そこでは、深美意識(真・善・美が三位一体となった意識、すなわち宗教性)を持つことができるかどうか重要な。現在はエゴが社会の推進力になっている競争主義の時代だが、一方でそれを美しくないと感じる深美意識との葛藤が存在する。社会が次の段階へと進化していくためには、個人が成熟した自我に基づいて深美意識、宗教性を保持することが鍵になる」と提言した。

板垣氏は、多くの日本人が持つ誤解つまりアッラー(イスラーム、ヤハウェ)ユダヤ教、キリスト教がそれぞれ異なる「神」ではなく、同じ「神」を指すことを指摘。一神教に関するこうした誤解や肌が合わないといふ理由の一つは、日本人がヨーロッパ中心主義に大きな影響を受けていることにあった。西欧のグローバリズムが獲得的に発展したことに対し、中東はユーラシア大陸、地中海・アフリカ・インド洋の3地域が交わり、地理的にグローバリズムの中心となることができた。このことから生じたイスラームに対するアンビバレンスの影響と、日本独特のオリエンタリズム(日本・中国・インドという三国意識)が相まって、現在のイスラーム観が形成されたと見る。このイスラーム観から脱却



するには、二項対立型ではなく、パラリズムで考え直す必要があると論じた。

一神教学際研究センターでは、本年11月から「一神教の再考と文明の対話」研究会と「アメリカのグローバル戦略と一神教世界」研究会の2つの部門研究会を発足させた。今後も活発な研究発表を続けていく予定だ。

## プロサッカー選手めざして ウィッセル神戸に通う

本学体育会サッカー部のGK、橋田聡司さん(神学部4年次生)は、今年8月に韓国大邱(テグ)で開かれたユバーシアードのサッカー日本代表のメンバー。さらに同じ8月に、高校生や大学生が学内チームに所属したままリーグの試合に出場できる「特別指定選手」に選ばれ、11月末までウィッセル神戸に通う、これからは楽しみなサッカー選手のひとりだ。橋田さんは週に3日ほどウィッセル神戸の練習に参加し







て、コーチの厳しい指導を受けながら他の選手とともに練習に励んでいる。「プロ選手は、技術・スピードはもちろん、サッカーに取り組み集中力が学生とぜんぜん違う。一つひとつのプレーにすごくこだわります。学生生活とサッカーの両立は、スケジュール的には厳しいものがありますが、いろいろな経験ができて毎日がとても充実しています」と語る橋田さん。卒業後の目標は、もちろんリーガー。「大卒は即戦力しか探ってくれない。だからいつオファーがきてもいいように準備だけはしています」。昨年までに特別指定選手に選ばれた52人のうち42人がリーグ入りしていることを考えると、希望がかなう日はそう遠くないはずだ。

小学5年生からサッカーをはじめ、中学1年生の時にコーチに勧められてGKになって以来、ずっとゴールを守ってきた橋田さんは、「ただ守るだけではなくて、キックひとつで攻撃のチャンスがつくれるようなGKになりたいですね」と笑顔で語ってくれた。

## 同志社リーダークランツが 函館でコンサートを開催

今年で創立70年を迎えた男声合唱団の同志社リーダークランツ。70周年を記念して9月20日から3日間の函館演奏旅行を行った。全部員の28人が参加し、函館千歳教会でのホールコンサートと「脱国の碑」前での屋外コンサートを開いた。



21日、同志社とゆかりの深い函館千歳教会で2ステージ、アンコールを含め15曲を披露。会場は本学の卒業生や教員ら135人もの観客で埋まった。第1ステージではメンデルスゾーンをはじめとするドイツ・ロマン派の作曲家たちの作品全5曲をドイツ語で合唱。第2ステージは函館の地になんだ「そうらん節」で始め、会場をわかせた。またこのステージでは「白百合」というイギリス民謡が披露されたが、これはリーダークランツの名付け親である山口隆俊氏が訳詞をしたもので、演奏会ではつねに歌われる同部にとっては大切な曲だ。第2ステージが終わると大きな拍手



リーダークランツ幹事長 渡辺将崇さん

がわき起こり、アンコール曲が始まった。最終曲であるオランダ民謡「サリマライズ」を歌い終えると、会場は再び大きく温かい拍手でつつまれ、幕を下ろした。

その後、「脱国の碑」の前で合唱。校友の方々が鑑賞に集まられたほか、近くで働いている方々や観光客が足をとめ、初秋の海をバックにさやかなコンサートとなった。

リーダークランツ幹事長の渡辺将崇さん(文学部4年次生)は「函館千歳教会の井石牧師や校友会の大島さんをはじめ、多くの方々の協力によって、とても有意義な演奏旅行ができました」と語ってくれた。

## 第14回ドイツ語スピーチコンテストで大阪・ハンブルク友好都市協会長賞を受賞

「あなたは、学校が好きでしたか？」田中佐永子さん(経済学部3年次生)のスピーチは、こんな問いかけから始まった。中学・高校時代、学校が好きになれなかったが、勉強することは大好きだったという田中さん。もつと多くの人たちに、学ぶことの楽しさを伝えたいと、「学ぶことは、楽しい！」というテーマで自身がドイツ語を学び始めたときのエピソードなどを交えてスピーチをした。ドイツ語の発音や抑揚、その他規定時間に対するペース配分などが評価され、最優秀賞にあたる「大阪・ハンブルク友好都市協会長賞」を受賞した。「スピーチを終えたとき、入賞できそうだという感触はありました」。ドイツ語表現法のギルデンハルト先生に、発音やドイツ語でのスピーチのコツをととても丁寧に教えていただいたおかげです」と語る。

田中さんがドイツ語に興味をもったのは、音楽が好きでバイオリンやピアノ、ピアノを習っていたことから。音楽の都ウィーンにあこがれを持ち始めた小学生の頃に遡る。大学に入学してからはドイツ語インテンスィヴに始まり、ドイツ語表現法、ドイツ語会話上級など、どうぶりとドイツ語やドイツ文化の勉強にはまる。またサマープログラムなどで既に2回のドイツへの短期留学を経験。



「良い先生方との出会いと励ましがドイツ語を学び続ける上で大きな糧になっています。今回のスピーチコンテストはあくまでも通過点。ドイツ語を自由に操るまでマスターするのが目標です」とドイツ語習得への熱意を語ってくれた。

田中さんは来年7月から1カ月間、大阪・ハンブルク友好都市協会長賞としてドイツに招待され、ハンブルクやその他の都市を訪れる予定だ。

## 「全日本学生フォーミュラ大会」で省エネ賞を受賞

9月10日から3日間、静岡県富土スピードウェイで開催された「第1回全日本学生フォーミュラ大会」で同志社大学フォーミュラプロジェクトチーム（以下同大チーム）が、省燃費を評価する「小野測器省エネ賞」第3位を受賞した。この大会は、（社）自動車技術会が主催し、学生が自ら車の構想・設計・製作を手掛けて、企画やコスト、走行性能などの総合力を競うもの。昨年夏に機械研究会が母体となって



左から沢口雄祐さん、六案内新也さん

立ち上げた同大チームは、約1年間、フォーミュラスタイルの小型レーシングカーづくりに取り組んできた。完



成した車は、エンジン内に噴射する燃料濃度を電子制御を噴射装置で最適に調整するエンジン制御に優れており、今回の受賞につながった。

企業のスポンサー探しなどの渉外を担当してきた六案内新也さん（経済学部2年次生）は、「受賞ももちろんですが、何よりうれしかったのは、自分たちの車が18キロのコースを完走したことです。大会前日のエンジントラブルや、大会初日にフレームの溶接とブレーキが甘いと審査員から指摘され、連日徹夜で修理をしていましたから。他大学と比べて少ないメンバーでよくやったと思います。また、エンジンを川崎重工さんから提供していただくなど、多くの企業からの部品提供やアドバイスをもらったおかげだと感謝しています」と話す。今回のプロジェクトリーダー、沢口雄祐さん（工学部機械システム工学科4年次生）は、「立ち上げ当初のメンバーは5人。ノウハウがなく本当に何から手を付けていいかわからない状態でした。製作中も設計どおりにいかないなど何度も問題に直面しました。その問題に対処するために、持っている知識をフル稼働させ、議論を重ねながら少しずつ

つ前に進んでいく。そういう試行錯誤の方が記憶に残りますね」と語る。

大会後、「車を通して世界が広がった」という六案内さんが、沢口さんにかわり新しいプロジェクトリーダーになった。六案内さんは、他のメンバー17人とともにすでに来年の大会に向けて始動しており、「次は、完成度をもっと高めて総合上位を狙いたい。そして、自作の部品をできるだけ使うなど、自分たちにしかできないカラーもどんどん出してきたいですね」と力強く語ってくれた。

＊現在同大チームではメンバー募集中。興味のある方は、機械研究会まで

## ローム記念館にベーカーリーカフェJOHERMオープン

9月末に京田辺校地で竣工した同志社ローム記念館内に同志社生協が運営するベーカーリーカフェ「JOHERM（じょあむ）」が開店しました。

パフエティに富んだ焼き立てパンとコーヒーなどの各種飲み物を提供するお洒落なカフェ。店名の由来は、新島襄のJo-Heim（庵）を組み合わせたものです。

営業時間（開講期は当面、平日は8:30～19:00、土曜日は8:30～15:00を予定しています。



## モンゴル柔道選手を招いて交流練習

モンゴルの柔道選手が、9月11日、京田辺キャンパスのデイヴィス記念館柔道場を訪れて本学柔道部と交流練習を行った。今回の訪問は、本学柔道部後援会長の藤原良平さん（64年経済学部卒）が代表を務め、本学卒業生らでつくる支援団体「日本・モンゴル友好柔道場」の招きで実現した。

訪れたのは、いずれも国内大会で優勝経験のある17歳から19歳までの大学生ら5人。本学柔道部員を相手に、汗を流しながら約2時間、乱取りや打ち込みを行い、練習試合などを行い交流を深めた。

モンゴルでは、柔道着が手製であったり、畳のかわりにレスリングマットを使うなど競技環境があまりよくない。2000年にモンゴルを旅行した際、そのことを知った藤原さんが中心となり「日本・モンゴル友好柔道場」ではこれまで、約90名の柔道着や畳などを送り、今回の旅費、滞在費も負担した。

一行は、12、13日の両日、大阪市で開催されていた世界柔道選手権大会に出場した同国選手の応援などを行い、14日に帰国した。





司法試験  
最終合格者数 (ベスト10)

| 順位 | 大学名   | 合格者数 |
|----|-------|------|
| 1  | 東 京   | 201  |
| 2  | 早 稲 田 | 174  |
| 3  | 慶應義塾  | 123  |
| 4  | 京 都   | 116  |
| 5  | 中 央   | 104  |
| 6  | 一 橋   | 43   |
| 7  | 東 北   | 37   |
| 8  | 明 治   | 33   |
| 9  | 大 阪   | 32   |
| 10 | 同 志 社 | 29   |

公認会計士  
第2次試験合格者数 (ベスト10)

| 順位 | 大学名   | 合格者数 |
|----|-------|------|
| 1  | 慶應義塾  | 228  |
| 2  | 早 稲 田 | 152  |
| 3  | 東 京   | 78   |
| 4  | 中 央   | 76   |
| 5  | 一 橋   | 71   |
| 6  | 京 都   | 49   |
| 7  | 同 志 社 | 48   |
| 8  | 神 戸   | 47   |
| 9  | 明 治   | 45   |
| 10 | 大 阪   | 37   |

2003年度資格試験  
合格ランキング

新任教員紹介

今年度11月1日から新たにお迎えする先生をご紹介します。



湯之上 隆  
(ゆのがみ たかし)  
所属…研究開発推進機構  
職名…専任フェロー

退職教員紹介

●三好義之助 商学部教授は11月12日にお亡くなりになりました。

卒業生からのお便り

新作能「庭上梅」の能面が完成しました。

新島襄先生を讃える新作能「庭上梅」の上演を企画している紫議会(能楽部観世会卒業生の会)では、この程、シテ(新島の能面を完成させました。

この能面は、新島先生の肖像画などをもとに、京都在住の気鋭の能面作家が、一年近くかけて彫りあげたものです。

新作能「庭上梅」は、紫議会が原案をまとめ、観世流シテ方・井上裕久師(79年文学部卒)に能楽として作詞・節づけ・型付けを、狂言大蔵流・木村正雄師に間狂言の作詞を依頼して制作されたものです。その構想は、晩年の新島先生が病魔と闘いつつその教育理念の実現をはかるため、大学設立運動に傾けられた情熱と、遠大な「宿志」を新島賛歌として謳いあげています。



小型ヨットで  
太平洋単独横断成功!



8月2日に小型ヨット「朋友(For You)」で大阪府田尻漁港を出発し、単独太平洋横断に挑戦していた友田享助さん(文学部4年次生)が、10月18日(現地時間17日)に目的地サンフランシスコに無事到着した。航海灯の損傷や嵐に遭遇したりと数々の困難を乗り越えての1万1300キロの大航海だった。



第1回京都学生祭典で  
グランプリ受賞!

10月11日に開催された第1回京都学生祭典で、本学学生のバンド「Chicago poodle」がKyoto Student Music Awardグランプリを受賞した。「Chicago poodle」は2000年結成以来、ライブハウスでの活動や、平和を願うCD「ワタシ流イマジ」を他大学を含む有志で出すなど精力的に活動を行っている。

関西学生野球で  
優勝!

10月28日、体育会硬式野球部は、関西学生野球リーグで20年ぶりの優勝を果たした。また、今季6勝をあげた渡辺亮投手(商学部4年次生)が最優秀選手、最優秀投手を初受賞した。

本学教員の新刊

(総合情報センター調べ)

|                                                          |                                            |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 英米倒産法キーワード<br>佐藤鉄男 倉部真由美 著 弘文堂<br>2800円                  | チャンス発見の情報技術<br>柴田康史 他 著 東京電機大学出版局<br>4600円 |
| 人間の心と法<br>岡田幸宏 他 著 有斐閣<br>2100円                          | 今昔物語集の表現形成<br>藤井俊博 著 和泉書院<br>9000円         |
| 有斐閣双書 KEYWORD SERIES<br>法学キーワード<br>佐藤鉄男 他 著 有斐閣<br>1800円 | パッケージ観光論<br>玉村和彦 著 同文館出版<br>2800円          |
| 総論ベンチャービジネス<br>田中譲著 ぎんざい<br>2900円                        | 中国の美術<br>太田孝彦 他 執筆 昭和堂<br>2500円            |
| 中国二〇世紀文学を学ぶ人のために<br>阪口直樹 著 世界思想社<br>2600円                | イスラーム統治論・大ジハード論<br>富田健次 著 平凡社<br>3200円     |

## 火山をめぐる小説

林田 明【理工学部研究所教授】

## BOOK

昨年从今年にかけて、地球科学の研究者の間で『死都日本』（石黒耀著）という小説が評判になった。南九州の加久藤カルデラで巨大噴火が起こり、日本のほぼ全域が壊滅的な打撃を受けるというストーリーは、近未来を舞台にした空想的クライシス・ノヴェルとして十分に楽しめる。専門家たちが注目するのは、大規模なカルデラ噴火や火砕流などの火山活動が正確な科学的知識をもとにして詳細に描写されていること、巨大災害が日本の

る規模の破局的な噴火は現実の日本列島で繰り返されたことであり、これから起こるに違いない現実なのである。

池澤夏樹の『真昼のプリニウス』には、天明3（1783）年の浅間山の噴火に遭遇した少女の体験が綴られている。その少女の死は火山を研究しながら生きようとする女性科学者の思いと対比され、誠実に世界と向き合おうとする人間の意識が描かれる。プリニウスは古代ローマ帝国にあつて『博物誌』を著し



## 『死都日本』

石黒 耀 著  
2002年 発売元：講談社  
定価：2,300円（税別）

## 『真昼のプリニウス』

池澤 夏樹 著  
1993年 発売元：中公文庫  
定価：590円（税別）

## 『火山に恋して』

スーザン・ソントグ 著  
富山 太佳夫 訳  
2001年 発売元：みすず書房  
定価：4,000円（税別）

## 『火山はすごい』

鎌田 浩毅 著  
2002年 発売元：PHP新書  
定価：740円（税別）

政治や経済、国際社会に与えるインパクトが絵空事とは思えない点である。今年の5月にはこの小説の著者と火山学者、政府や民間の防災担当者、マスコミ関係者などが参加して「破局噴火のリスクと日本社会」についてのシンポジウムも開かれた。この小説ではたくさんの人たちの命が失われ、いくつもの都市が火砕流や火山灰に埋もれていく。それらはもちろんフィクションではあるが、ハッキリと描かれ

た人物で、ボンペイとヘルクラネウムを埋没させた西暦79年のヴェスヴィオの噴火に遭遇して命を落とした。このとき、火山から立ち昇る噴煙から軽石や火山灰が降下する様子をプリニウスの甥（小プリニウス）が書き残したことから、このような噴火様式を今ではプリニアン噴火と呼んでいる。

スーザン・ソントグの『火山に恋して』（原題：The Volcano Lover）は18世紀、ナポリ王国

に赴任したヴェスヴィオ火山に魅せられた英国公使ウィリアム・ハミルトンの周辺に展開されるロマンスを描いた歴史小説である。愛妻キャサリンを亡くしたハミルトンは数奇な運命の美女エマを手に入れ、貴婦人に育てていく。やがて公使夫人となつたエマはナポリ王妃の寵愛を受けるまでになり、ナポレオンから英国を救つた英雄ネルソン提督と不倫の恋に落ちる。この小説には、『イタリア紀行』のゲーテ、オペラ『トスカ』の悲劇、大英博物館所蔵の名品、ポルトランドの壺の来歴など数多くのエピソードも書き込まれ、まさに上質の知的エンターテインメントとなっている。ナポリを襲うフランス革命の混乱は火砕流のほとばしりを思わせ、エマ・ハミルトンの華麗な肖像や英雄ネルソンの凛々しい姿にのぞく激しい情熱はヴェスヴィオの火を感じさせる。だが、火山と同じように、情熱も姿を変え、やがて失われていく。

最後に、火山の恐ろしさも美しさ、不思議さに興味を持った人には『火山はすごい』（鎌田浩毅著）を薦めたい。これは小説ではないけれども、どこにも火山に魅せられた人間の情熱が感じられる。

## 卒業生の新刊図書

## 『詩とハンセン病』

森田 進さん 1996年文学部卒業  
土曜美術者出版販売 1400円（税別）

## 『はがき随筆』

牧山 功さん 1995年文学部卒業  
文芸社 952円（税別）

## 『知的財産権キーワード事典』

飯田浩司さん 1995年法学部卒業 他  
プロスパー企画 2600円（税別）

## One Purpose Library



# CD

## 「クラーン、癒やしの音楽?」

四戸 潤弥【神学部教授】



西暦611年、中東はアラビア半島、紅海側の町々カ郊外で、一人のアラビア人に唯一神の啓示が天使カブリエルを通じて伝えられた。ユダヤ教、キリスト教の一神教の系譜につながるイスラム教の歴史が始まるのだが、実に唯一神による使者選定がキリストの後、615年後に行われたのだ。最初の啓示の後、3年間、啓示は途絶え、アラビア人の「神の使者ムハンマド」は精神的に苦しい時期を経験する。そして再び啓示が始まり、以後、神の許に召さ

れる632年まで延べ23年間の啓示が続いた。それから今日まで、世界には神の使者は現れていない。

「神のこゝろ」としてのクラーンの真実

啓示は彼の口からアラビア語として発せられたが、アラビア語としての言語の形になる前としての「意味としての言葉」は神の言葉である。

### 『偉大なるクルアーン/イスラムの栄光 ～イスタンブールのコーラン朗誦』

2000年 発売元:ピクチャーエンタテインメント株式会社  
VICG-60312 価格:1,900円(税別)

り、アラビア語としての言語の形をとった後の言葉として表現されたものは、神が語ったアラビア語であった。それ故に、アッラーの啓示を伝えようとする苦痛は常人の能力を超え、啓示は、鈴の連続音が響き渡る苦痛の中で始まった。神の言葉を聞き、言葉を入れず伝えることの困難さがあつたことに、人間同士の会話次元とはまったく違ったものであつたことが証明されるのである。

彼の死後、啓示は一冊の本に纏められ、クラーン(声を出して読む)という意味としてイスラム教徒の音読義務となつた。

人間の言葉でないことの真実

啓示初期の段階から、イスラム教徒たちは暗誦に努力し、今日まで続いている。ひたすら声を出して読む、神の言葉が滑らかに口から流れ出るまで、ひたすら声を出して読む、そして例え暗誦したとしても、日々の練習を怠ればたちまち、舌は人間の舌に戻り、神の言葉を滑らかに口から流れ出ることがなくなる。こうしてイスラム教徒は、

6歳から神の許に召されるまでひたすら声を出して読むことに努力するのである。クラーンの全朗誦時間は約30時間に及ぶ。クラーンは全部で114章、長短の別があり、それらを30等分し、1ヵ月に1回読み通す。つまり、1日1時間の朗誦が最低必要であるものの、止まったり、間違ったり、あるいは宗教的感情溢れ感涙に咽(むせ)せば、あるいはまた伏して折れ

とある箇所です伏す動作を行うとすれば、1日2時間をクラーンのために割くことになる。また1日5回の義務の礼拝にもクラーンの一部を読むが、礼拝は早くして1回10分はかかるから、1日約3時間、宗教的勤行に割くことになる。

クラーンを舌先滑らかに朗誦することは、信仰厚き人の証である。そしてクラーンと共にある人とイスラム世界で出会うことは容易である。このような外的拘束の事実から、神の言葉を胸に秘めた人の雰囲気には独特のものがあり、それがまた人格形成に深い影響を及ぼしており、感動を与える。

「神の言葉」の特徴

私たちはまずは、こうした雰囲気への感情が動かされ、神のこゝろを滑らかに発する口から、その調子が人間のそれとは違うことを、まさに、前記の理由から感じ取るのである。

一節区切り毎に長母音で終わるか、長母音の後にNの子音が現れるかの韻が踏まれる。節の最後を伸ばすのは日本の民謡に似てはいるものの、伸ばして後の言葉と繋がらず、悲しみの旋律を醸成することなく、抜き去ることにその特徴がある。そこに明るい空間を感じるのは、陸の方角に砂漠の空間、海の方角に空と海が溶け合うほど暑く、明るい空間の風土の中で、クラーンの朗誦を聞いていたせいかもしれない。

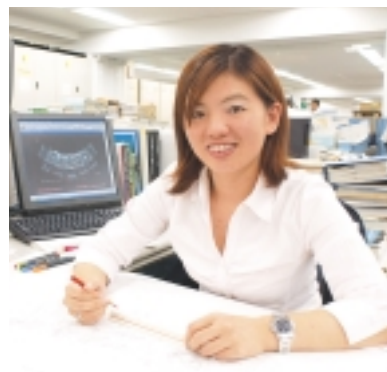
クラーンが作り出す明るい空間の節目と節目の不思議な調子、それが癒やしの音楽のコードに、歌謡としては、きっぱりと否定された、神の言葉が置かれている理由でもある。

# MY LIFE 「仕事」

MY JOB  
MY LIFE

トレーナーの経験を生かし  
「職場の太陽」のような  
存在をめざす。

私は学生時代、体育会アメリカンフットボール部の女子チーフトレーナーとして活動していました。私が入部した1994年、それまで男子部員のみが務めていたトレーナーを女子マネージャーの中から募ったところ、希望者は私だけだったのです。トレーナーの役割は体調管理やマッサージ、ピンキングなど、個々の選手ができるだけ良い状態で試合に臨めるようにすることです。初めのうちは、女子の私が男子の選手たちとどこまで密接に関わっているか不安でした。しかし努力の甲斐あって私をトレーナーとして指名してくれる選手が次第に増え、引退する先輩方から「小林さんが付いてくれて良かった」と言ってもらったときは、本当にうれしく、今も良い思い出として心に残っています。



体育会の活動は忙しかたのですが、工学部物質化学工学科では、もともと興味があった環境問題に取り組みました。そして4年次から大学院工学研究科工業化学専攻の3年間は、材料システム研究室の伊藤正行先生のもとで、気候変動と関係のあるエアロゾルという微粒子が環境に及ぼす影響を研究しました。現在勤務している大気社の事業は、主にビル空調などの環境設備、クリーンルームなどの産業設備、そして塗装プラントの3つの分野を手掛けており、その中で、私は環境設備の設計を担当しています。部屋の温湿度条件を満たすのに必要な冷暖能力を計算し、空調機器を配置し、ダクトをここに引いて...と、自分で描いた設計図から実際にビル空調が完成していく過程が、この仕事の醍醐味です。

最近、得意先と私一人で打ち合わせをする機会が増えてきました。体育会出身なので、ある程度のことには動じない自信があったのですが、先方の質問に即答できないと悔しくて、社会の厳しさを実感します。そんな場合でも自分なりに説明した結果、なんとか納得していただけた時のうれしさは格別です。でも大事な案件ではやはり先輩の助けが必要ですから、一人前になるまでにはもう少ししばらくかかりそうです。

トレーナーの時もそうでしたが、女性としての私が、男性社会の中で存在感を示すには何ができるのだろうかといつも考えてきました。就職の際、私が尊敬するとある先生から「職場の第一人者たれ、職場の太陽たれ」との指針を頂き、仕事と共に現在はず、会社の皆さんにできるだけ声を掛けるように心がけています。例えば、外出する人への、いつてらっしゃいというひとことで、職場がもっと明るくなればうれしいです。一方で、仲良くするのも大事ですが、やはり節度を保つことが肝心だと思います。上下関係や礼儀は学生時代に学んだつもりでしたが、社会では様々な年代の方と関わりを持つので、特にその必要性を感じます。後輩の皆さんは、アルバイト先などでも、このことを気にとめていれば社会に出てからもとまどわなくて済むと思います。最後に、最近の男の子はなんだか元気が足りないように感じます。もっとハキハキと元気良く、これが私のメッセージです。

P R O F I L E

## 小林 明美さん

【2000年工学研究科博士課程  
(前期課程)工業化学専攻修了】

株式会社大気社 大阪支社  
技術部設計積算課勤務



アメリカンフットボール部は当時80人前後と部員数が多く、卒業しても部員同士の結びつきが強いそう。私の会社がある大阪・淀屋橋付近に勤めている卒業生も多くて、道でばったり出会うことがよくあります。でもお互いに忙しい用事の途中で、ゆっくり立ち話もできないのが残念です」と小林さんは語る。



ところで、皆さんは教会と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。キリスト教の布教活動を行う場所。結婚式を挙げる場所。確かに

牧師の道に進もうと決めたのは、大学に入學してずいぶん時間が経つてからでした。家族がクリスチャンだったこともあり、幼いころからキリスト教に接する機会はありました。が、牧師になろうという思いはなく、文学部で文化史学を専攻し、墳輪の研究をしています。しかし、自分の悩みを牧師さんに聞いてもらい気持ちが和らいでいった経験や、大学でのさまざまな人との出会いから、自分の進む道はこれかもしれないと思い、入学して5年目に神学部で3年次に編入。大学院でも神学を学びました。大学院修了後、東京の教会で6年間過ごし、今は、京都市北区にある紫野教会で牧師をしています。

MY JOB  
MY LIFE

神と人、人と人とのつながりあう教会で  
あり続けたい

シリーズ

MY JOB, MY LIFE

第22回

## 私と

学生時代、とても無口だったあの人が、  
学生時代、英語の苦手だったあの人が、  
このシリーズは、毎号それぞれの分野で活躍する  
何を考えてきたかを取材しています。  
学生諸君には将来のキャリア・プランと学生

そうなのですが、私は人とかかわりを大切にする場所だと考えています。宗教を表す「Religion」の語源には「つながりあう」「参加する」という意味があります。神と人、人と人とかかわりあつて自主的な活動をしていく。教会、そして牧師の大きな役割は、その「場づくり」を手伝うことです。そういう点では、紫野教会は、同志社教会の支教会として68年前に設立され、「自主自立」の精神が根づいています。信徒たちを中心いろいろな活動が行われており、「聖日礼拝」や子どもを対象とした「教会学校」、ほかにもハンダール講座、子どもの文庫活動、病院や高齢者宅への訪問などさまざまです。

また、日本基督教団京都教区の活動にも協力しています。私は今「アジア宣教活動委員会」というものに関わっていますが、そこには今出川キャンパスのすぐそばにある「バザールカエ」という動きもあります。これも、人々との出会いの場だと思います。ここでは、タイの工芸品などを販売し、その売上金をタイの奨学金にする活動も行っています。活動などを通して多くの人と話し合うな



はじめました。もともとキリスト教は、一人ひとりを尊い存在として認めています。だから私は、生きることの尊さを訴え、そして一人ひとりの違いを尊重していく。できることは小さいかもしれませんが、人々のつながりを大切に、キリスト教という立場から世界の平和と人々の豊かさのために積極的に活動していきたいです。

P R O F I L E

おおざわ ひろむ  
大澤 宣さん

【1989年神学研究科博士課程  
(前期課程)組織神学専攻修了】  
日本基督教団紫野教会牧師  
紫野幼稚園園長

紫野教会内には幼稚園もあり、その園長も兼任して忙しい毎日を送る大澤さんだが、学生時代はゆったりとした生活を送っていたそうだ。「今出川キャンパスの明徳館前のベンチに座り、授業時間以外は朝から夕方まで友人たちととりとめのない話をしていました。同志社の自由な雰囲気になれ、いろいろな人たちと時間を共有できた。そのことが学生時代の何よりの財産ですね」と笑う。



# お知らせ ANNOUNCEMENT



2003年度秋学期 映画上映・他

【時間】毎週火曜日12:30～/15:00～

【場所】多目的ホール(京田辺校地)【入場料】無料

忘れない、感動の作品たち・・・

**12月 2日(火) ラスト・プレゼント** '01 韓国 (オ・ギファン監督)112分

**12月 9日(火) 京田辺夕暮れコンサート** 14:00～18:00

♪～クリスマス・ラウンジコンサート～♪

【日時】12月15日(月)～19日(金) 12:30～30分程度

【場所】多目的ホールラウンジ(京田辺校地)

**12月 15日(月) 「アカペラサークル “One Voices...”**

**12月 16日(火) 「同志社交響楽団」**

**12月 17日(水) 「学生聖歌隊」キリスト教文化センター共催**

**12月 18日(木) 「同志社ゴスペルクワイアー Joyful-Joyful」**

**12月 19日(金) 「F・A・C」**

お問い合わせ先: 学生課(京田辺) TEL: 0774-65-7410

## アッセンブリーアワー「京都学生演劇展」

【期間】12月10日(水)～22日(月)※日曜は除く

【場所】今出川校地明徳館1階ラウンジ

【お問い合わせ先】学生課(今出川) TEL: 075-251-3270

## 課外講習(Ski)参加者募集

本年度も恒例のスキー講習を長野県野沢温泉スキー場で実施します。講習は参加者の技術レベルに応じた少人数の班編成で行います。募集対象者は、学部生から大学院生までのすべての同志社大学生です。

スキーを始めたい人、もっとうまくなりたい人は、是非参加してください。

【日 程】2004年2月18日(水)～21日(土)3泊4日

【スキー場】長野県野沢温泉スキー場

【参加費】38,000円(交通費・用具レンタル料を除く)

その他に、リフトカード保証金1,000円(講習会終了後返却)が必要

【募集期間】12月1日(月)～13日(土)

【申込場所】京田辺 体育係(磐上館) 今出川 教務課(弘風館1F)

【お問い合わせ先】体育係(京田辺校地磐上館) TEL: 0774-65-7510

## 第39回全同志社メサイア演奏会

出 演:同志社交響楽団、同志社グリークラブ、同志社女子大学メサイア研究会ほか  
指揮者:金 洪才

ソリスト:ソプラノ 松下悦子 アルト 栗林朋子 テノール 小貫岩夫  
バス 井原秀人 チェンバロ 井幡万友美 オルガン 高橋聖子

と き:12月24日(水)18時開演(17時開場)

入場料:1,500円(未就学児の入場はご遠慮ください)

ところ:京都コンサートホール(大ホール)

お問い合わせ先:全同志社メサイア実行委員会 TEL:090-5362-3901

## 全同志社クリスマス キャンドルライトサービス

出 演:同志社女子中高、同志社高校、同志社中学校、同志社国際中高、  
同志社香里中高、同志社学生聖歌隊、同志社大学ハンドベルクワイアー、  
同志社女子大学聖歌隊

入場料:無料

と き:12月20日(土)18時開演(17時30分開場)

ところ:同志社栄光館(今出川校地女子大・女子中高内)

お問い合わせ先:同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141

## 第14回 同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

出演:同志社学生聖歌隊、同志社大学ハンドベルクワイアー、  
同志社国際中・高等学校・トーンチャイム、京田辺市民合唱団、  
同志社大学神学部関谷クラス、同志社大学キリスト教文化センター  
公開講座コスベルクラス ほか

入場料:無料

と き:12月6日(土)16時30分開場(16時開場)

ところ:新島記念講堂(京田辺校地)

お問い合わせ先:キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

**クリスマスイルミネーション点灯式**

京田辺校地 12月1日(月)16時45分開場 ラーネツド記念図書館にて

## スポーツ政策シンポジウム「日本の野球を考える」

—その法的地位と社会貢献—

このシンポジウムは、二つの講演と現役プロ野球選手、コーチ、スカウト、野球解説者によるクロストークおよび来場者との質疑応答という構成になっています。

日 時:2003年12月6日(土) 14:00～17:00

場 所:今出川キャンパス 明徳館21番教室

コーディネーター:横山 勝彦(法学部教授)

キーノートレクチャー1:「野球と社会」

佐藤 鉄男(総合政策科学研究科教授)

キーノートレクチャー2:「プロ野球をめぐる最近の法的問題」

伊藤 亮介(TMI総合法律事務所弁護士)

パネリスト:宮本 好宣(横浜ベイスターズ スカウト 73年商学部卒)

田尾 安志(野球評論家 76年文学部卒)/杉浦 正則(日本生命

野球部コーチ 91年商学部卒)/片岡 篤史(阪神タイガース 93年

商学部卒) 宮本 慎也(ヤクルトスワローズ 94年商学部卒)

主 催:総合政策科学研究科 政策学部(2004年4月開設)

入場料:無料(来聴歓迎)

お問い合わせ先:総合政策科学研究科事務室 TEL:075-251-3860

# One Purpose

<ワンパーパス>

## 同志社大学通信137号

2003年12月1日(4・6・10・12月4回)発行

発行 同志社大学 広報課

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080

E-mail ji-koho@mail.doshisha.ac.jp